

## 「ビジネス交流・企業間連携の促進を 図り、活力ある尼崎市の創造を」

尼崎商工会議所青年部

部会長 島谷 太さん(45)



この人

4月の尼崎商工会議所「青年部」の総会で、山本雅彦前部会長の後を受け、部会長に選任された。

青年部は平成6年に会頭の諮問機関として設立され、「夢と希望と好感の持てる尼崎」の実現を目指して、若い感性と情熱を活かし一貫して「まちづくり」をテーマに掲げて活動に取り組んできた。

今年度の基本方針は、先輩諸兄が築き上げてきた青年部の伝統や歴史、尼崎地域の活性化に対する想いをメンバー全員で引き継ぐと共に、「青年部」をメンバー一人ひとりの手で磨き上げていくこと。また今後、20周年・50周年に向け力強く前進し、「次世代あまがさき」をメンバー全員でデザインできるような、今年度は、『ブラッシュUP青年部』をスローガンに掲げている。

島谷部会長は「尼崎には、どんな人でも暖かく受け入れてくれる不思議な魅力があります。私も学生時代よりこの町でお世話になっており、何とか地域を活性化するお役に立ちたいと強く願っていました。そこで、今回、部会長の就任にあたり、青年部の活動を通じて、ビジネスを軸に企業との連携や交流の促進を図ることにより、全国的に尼崎をPRし、更に元気で暖かい地域にしたいと考えています。そのため、の事業として、今年度については、「大相撲尼崎場所」の開催や「ロボカップジュニア」の尼崎への誘致活動、行政との連携によるまちづくりへの参画などを掲げています」と熱く語る。

さらに、「青年部活動では、参画メンバーの居場所作りには特に注意しています。人には

必ず居場所が必要で、役割や権限を与えれば達成感や参画意識が高まり、個々の能力を最大限発揮するきっかけにもつながるんです」と力強く。

島谷氏は昭和40年生まれで、本業は広告代理店経営。もともと大手広告代理店のリクルートに在籍されており、その後、大阪市内で知人と共同経営の会社を立ち上げ、平成11年に、現在の(有)ライオンを塚口に開業した。

「自分には、ものづくりの技術もなく、常に人前に出て引く張っていくタイプでもない。しかし、人と人、人と情報、人と企業など、物事をつないでいくことに喜びを感じていましたので、人材ビジネスに携わりたいと強く思うようになりました。社名のラインには、「つなぐ」という想いが込められています。モットーは、「お人好し企業になろう」を挙げ、人に喜んでもらえるようなビジネスをしよう」と、日頃から社員に呼びかけている。

趣味は、スポーツ(バレー)、旅行、そして、キャッチコピーを考えること。特に、中学生時代から始めたバレーは、現在でもチームを組んで活躍されており、好きなスポーツを通じて気分転換を図っている。

最後に「大切にしているものは」との問いかけには、即座に、「嘘をつかない、正直でいること」、「目標を立てる」と答えた。日頃、青年部活動を通じて感じていた「実直さ、誠実さ」や「志の高さ」が伝わり、島谷氏の素朴で素直な人柄と何事にもこだわってやり遂げるという芯の強さに、改めて好感を抱いた。「次世代あまがさき」の実現に向けて今後のご活躍を期待します。(三國)

## 尼の風景

◆尼崎の風景をシリーズで紹介していきます

### 織田信忠との合戦の地

#### 塚口城

塚口城は、室町時代から戦国時代の文献にその名が記されており、天正6年に荒木村重が、織田信忠との合戦のとき、前線基地を築いたことで有名。中世の塚口は、塚口御坊と称された浄土真宗興正寺別院の寺内町として栄えており、村の外郭に土塀を巡らし、村全体が城の役割を果たしていた。



塚口城のなごりを示す東門の土塁跡

落城後は、正玄寺として復興したが、当時の面影はほとんどなく、小さな祠と、堀や土塁の一部を含んだ東町、清水町の門跡になごりがある。(松久)

「サンドプラスチック技術で心豊かな生活を演出したい」



長谷代表

同社は、平成20年9月に創業したばかりで、長谷代表はこれまでサンドプラスチックに携わることなく、まったくの異業種からこの業界に飛び込み創業した。長谷代表は大学卒業後、地質調査の会社に就職した後、住宅の地盤を調査する会社に転職。役員として数十人の部下を抱える会社に育て上げたが、一念発起して現在の会社を始めることとした。

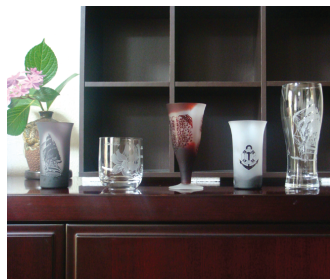
サンドプラスチックとは、ガラスコップなどの表面に砂を当てて、模様をつけていく技術のこと。模様をつけたくないところの表面にマスキングを施し、機械を使って砂をあてると見事に表面に模様が浮かびあがる。入れる模様は、絵であろうと写真であろうと、大抵の絵柄であれば制作が可能である。亡くなったペットの写真を加工して、永遠に残していきたいというニーズが高いとのこと。

作っている製品としては、ガラスコップのほか、花器、鏡など多種多様。素

ウインドミル

長谷 寧代表(57)

材はガラスだけでなく、アクリルや金属にも対応が可能で、金属で作った携帯ストラップやキーホルダーにも加工できる。写真とは異なったイメージの画像になるため、部屋のインテリアとしても好評とのことである。また1個ずつの生産のため、名入れなどの対応が可能である。



美しい作品の数々



ユリ模様のグラス

インターネット販売の「ヤフーショッピング」食器部門で3位をいう栄冠にも輝いた。父の日にあわせてガラス商品を企画したところ、予想を超える注文が入ったため、うれしい悲鳴をあげることになった。

基本的にオーダー注文による生産のため、販売は原則としてインターネットのみだが、動物霊園などにも販路を拡大し、積極的な展開を図っている。

長谷代表は「サンドプラスチックのことを知らない人にも、この技術の存在を知ってもらいたいと考えてます。気軽に手の届く価格を設定して、サンドプラスチックでの製品を楽しんでもらえたら」と笑顔で。今後はあまり会社を大きくせず、丁寧な仕事で喜んでもらえるような製品作りをし、プロフェッショナルとして自信をもって仕事をしていきたいとのこと。

経営方針にあるような、丁寧な仕事でますますの発展を祈りたい。(山本)

【会社概要】

所在地 塚口町6-7-5

TEL&FAX 4867-3137

事業内容 サンドプラスチックによる彫刻・加工

HP

<http://www.suteki-catalog.com/2351.html>

貯金箱 シリーズ

◇自由の女神像貯金箱 (プラスチック 日本 昭和)

自由のシンボルとして世界中に知られている「自由の女神像」は、アメリカ合衆国独立100年を記念して、1886年にフランスから贈られた。正式名は、Liberty Enlightening the World (世界を照らす自由)という。土台の高さと像の高さがそれぞれ50メートルほど、総重量は225トンほどあり、銅製だが、酸化し緑色になっている。女神像の内部には、らせん階段があり、頭部の展望台まで登ることが可能。



(あましん「世界の貯金箱博物館」)

味  
な  
店

和牛専門店

ミートショップ肉ふじ

「ミートショップ肉ふじ」はJR神戸線立花駅から徒歩1分、立花商店街の中にある昭和39年4月にオープンした和牛専門店。同60年に父親の章一氏から引継ぎ、現在の藤岡信也氏が社長となった。

同店は、創業以来、和牛にこだわり続け、藤岡社長自らが市場に向き、その時に1番美味しい黒毛和牛を仕入れていく。肉のブランドにはこだわらず、品質が高く、かつお手ごろな値段で提供できるよう心がけている。



「こだわりの和牛をご美味下さい」と藤岡社長

だが、和牛と国産牛は同じものと考えがちだが、国産牛が乳用種(ホルスタイン)

やホルスタインとほかの品種を交配した交雑種であるのに対して、和牛は、肉専用種のこと、黒毛和種・褐毛和種・日本短角種・無角和種の4品種だけを示し、ほかの品種で使うことは禁止されている。同店では、その中でも最高レベルの黒毛和種を扱っているこだわりようだ。

肉骨粉が一切使用されておらず、お子様や妊婦の方まで安心して食べられるのがうれしい。極上和牛すきやき用(100g<sup>グラム</sup>・650円)、肉厚たっぷり(60円)、肉じゃがコロッケ(120円)の極上和牛サーロインステーキ(1枚・2150円)が人気。

また、お肉屋さんならではの黒毛和牛の端材を使った各種コロッケもよく売れており、特に先代から引き継いだ秘伝のレシピで作ったビーフコロッケ(60円)、肉じゃがコロッケ(120円)の人氣が高い。

現在、立花近辺では知らない人はいないといわれるほどだが、現社長が引き継いだ時は、コロッケがなかなか売れない時期がしばらく続いた。そんな時、お客様から「こんなコロッケを作ってほしい」と提案があったものを次々に商品化。「なすとミンチのはさみ揚げ(80円)」、「梅豚大葉(140円)」、「とうふカツ(140円)」、「豚肉野菜巻き(100円)」などのメニューが次々に誕生した。

次第に口コミで顧客をつかみ、現在

では1日に約1000個も売上げるようになった。多くのマスコミに取り上げられ、遠方からも買いに来るお客様がいる。

お客様とのコミュニケーションの中で生まれたコロッケのメニューは、現在30種類で、裏メニューを含めると50種類に及ぶ。

さらに、市内のたいやき屋とコラボし、たいやきの中に秘伝の肉ふじのコロッケの具が入った「たいやきコロッケ」を共同開発するなど、果敢に新たな試みをしている。

表面の衣はサクサク、中はジューシーで肉ミンチの味がしっかり味わえるコロッケ、是非、一度ご賞味を。

(吉野)



所在地 立花町1-5-10  
TEL 6429-6838  
営業時間 10時~20時  
定休日 木曜日

ロゴマーク誕生

しゃぶしゃぶ亭ふくら

しゃぶしゃぶ亭ふくら(杉本清子代表が、新しい店の顔となるロゴマークを作成した。



同店は、市内でも珍しい一人鍋のお店として、平成19年12月にオープン。以来、気軽にお鍋が楽しめる人気を集めている。

店長の田中さき氏は「オープンから2年半、おかげさまで、

たくさんのお客様にお越しいただいております。ただ、一見の方や若いお客様の中には、しゃぶしゃぶが高級というイメージからか、ちょっと入りにくいと感じている方もいらっしゃる。でも、もっと気軽に挑戦していただけるようにロゴマークを作ったらどうだろうと考えました。

図案は田中さんが考案し、作成をデザインナーに依頼。商標登録に関しては、



女性1人でも気軽に入ることのできる雰囲気

はじめに本会議所の専門相談(特許相談)を活用し、登録申請を行った。「マークの基本的なイメージは料理人さんです。そこにかわいらしさや親しみやすさをプラスして、このキャラクターが出来上がりました。特に、女性のお客様からかわいいと言っていただけることが多いですね」と田中氏。ロゴマークは、新しい看板や箸袋に使用され、お客様をお出迎えしている。また最近では、元々の常連さんが、お子さんやお孫さんを連れて来られることも増えてきたとのこと。「小学生ぐらいのお子様たちにとっては、自分でお鍋を作ることが新鮮な体験のようで、とても楽しそうにされています。私たちにとっても、新しい発見でしたね。ランチタイムはリーズナブルな料金ですので、夏休み中にご家族でご来店いただけたらうれしいですね」。

メニューは、豚ロース、豚バラ(ランチ・750円、夜・1380円)、牛ロース(ランチ・950円、夜・1580円)、ハーフ&ハーフ(ランチ・800円、夜・1750円)、すき焼き(ランチ・800円、夜・1600円)、いづれもごはん、漬物付き。夜は、しゃぶしゃぶメニューのほかに一品料理もある。

夏場には、「家ではあまり鍋をしないから」と同店を訪れる鍋好きのお客様も多いとか。すべてが厳選された国産の食材。夏バテ防止に、ふっくらのお鍋をどうぞ。(丸本)

所在地 神田北通2-19  
TEL 6412・2955

営業時間 (ランチ)11時~14時、(夜)17時~22時ラストオーダー

## 投げるだけで初期消火

㈱エス・ピー・シー

平成20年における火災による死傷者数は約2000人。住宅火災による死者だけでも約1000人を超える。そのうち約6割が「逃げ遅れ」によるものである。(消防庁)  
火災が発生した際に最も被害を少なくするポイントは炎が小さいうちに消

火する「初期消火」。しかし、パニック状態で使用することは簡単なことではなく、また消火器は消防法で共用部のみ設置されているため、室内からの脱出も特に高齢者・障害者・女性・子供などの災害弱者には困難な状況となっている。

㈱ボネックスが開発した「投げ消すサット119エコ」は、重さ約600gで投げるだけで消火ができる優れもの。昨年4月に東京消防庁にも採用されている。日本消防検定協会(NSマーク)の厳しい基準をクリアし、安全性も保証済である。



炎に投げ込むだけで、消火し、避難路を確保する

特に逃げ遅れの際に、退路を確保するため投げ込みながら避難するという使用方法により被害を最小限に食い止めることが期待される。

尼崎で販売を手がける㈱エス・ピー・シー営業部の嵯峨山信幸氏は、「消防法の基準を満たしている以上の対策が、企業に求められる時代になっています」。

また、万が一の事態に従業員やお客様の安全を守るお手伝いができれば」と。(松久)

㈱エス・ピー・シー  
所在地 三反田町2-19-14  
TEL 6427・8750  
HP <http://protectjapan.co.jp>

## 尼崎発 世界行。

サゴニューマテリアルギタース

平成18年に創業した、エレキギターとベースのメーカー。現在は、西立花町で工房を構えている。

すべての注文を完全オーダーメイドで仕上げ、「SAGO」のロゴが入ったギターは、プロのミュージシャンや音楽ファンから高い評価と信頼が寄せられている。



「世界に1本だけのギターを」と高山氏

代表の高山賢氏は元ミュージシャン志望で、ギターメーカーのアルバイトがきっかけで、楽器製作を通じて、世界の人たちに音楽を届けたい。ミュージ

シャンたちが誇れるギターを常に提供したい」と、同社を立ち上げた。いまでは、関東やヨーロッパ、台湾、香港などにもユーザーの輪が広がっている。木材の切り出しから成形、塗装など多岐にわたる製造工程は、一貫して同社の工房で行う。

「基本的に、1人のスタッフが受注から完成までを担当します。材質やギターのネック、ボディの形状、カラーデザインや細かな部品にいたるまで、世界に1本だけのギターを手にしていただけます」と高山氏。



丹精込めて作られたギター

さまざまな要望に応えるために、木材だけでも25種類以上を揃え、塗料の調査までも行う。製造過程は同社のHPを通じて確認できるほか、実際に工房を見学することもできる。

「イメージやこだわりは、お客様の数だけあります。なので、毎回毎回、新鮮な気持ちで、想像力を膨らませながら取り組んでいます。お客様のイメー

ジに適っているかと不安になることもあります。完成品を手にして喜んでいただける瞬間が一番うれいしですね。そのためには、どんな努力も惜しみません」と高山氏。

若いスタッフが働く工房には、ところ狭しと並んだ機材とともに、音楽への情熱がぎゅっしりと詰まっている。

「事前にご連絡をいただけたら、いつでも工房の見学ができます。気軽にお問い合わせ下さい」と。(丸本)  
住所 西立花町4-15-8 1階南側  
TEL・FAX 6430・6760  
HP <http://www.sago-nmg.com/index.php>

## 老舗探訪

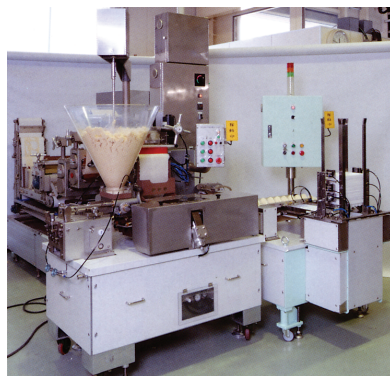
### 「志」を持ち、ものづくりの醍醐味を感じてほしい

(株)矢田製作所

中華食材の機械製造を行う(株)矢田製作所は、昭和40年に現社長の吾郷登氏の義兄である矢田通則氏が同地で創業。

今年、創業45年目を迎える。創業当時は食品とは無関係であったが、シューマイ製造機を依頼されたことから、食品関係の機械製造を手がけるようになる。

「ものづくりが大好きな先代で、自社で商品開発ができる絶好のチャンスと思つたんでしょう。私から見ても、ここまでやらないといけないのか」と思うほど熱心に取り組んでいました」と吾郷氏。



1時間に1万個のギョーザを製造する

同48年に法人成りし、中華食材の機械製造を本格的に取り扱うようになる。「安全性に一番気を使います。少しでも危険な場所にはカバーをつけるなど工夫しています」と話す同社の製品は、1時間に1万個の餃子を製造し、安全性だけでなくスピード・正確性も高く評価され、大手の食品メーカーと取引引きがある。

また、社員教育にも力を入れる吾郷氏が社員にかける言葉は『志を持つこと』。ものづくりの仕事に誇りを持って、目標を掲げながら励んでほしいと言う。その言葉に応えるように、出雲工場の若手社員が、昨年の技能オリンピック

で島根県代表として出場し写真。大手企業の社員を抑えての出場に、ほかの社員への良い刺激となった。



技能オリンピックの様子

「企業が継続するためには、社長が会社の方向性を明確に示すことが大切です。いまは、春までに2機種の新製品を開発することが目標です」と真摯に話してくれた。(松久)

所在地 神崎町43-6  
TEL 6499・4558  
営業内容 食品機械製造販売その他一般産業機械製造

## 販促EXPOに出展!

丸一興業(株)

丸一興業(株)(田中則彰社長)は、7月7日~9日で東京ビッグサイトで開

催された展示会「第2回販促EXPO」に出展した。同展示会は、主にPOPや看板などの販促ツールを一堂に集めた展示会。同社は強化ダンボールや硬質ミルダンなどの硬質紙ボードを使用した、軽くて丈夫なすべり台やイス、机などを中心に展示を行った。



紙で作ったとは思えない見事な看板

今回、変わった問い合わせとしては、看板についてのものがあつたとのこと。通常の展示会で使用する看板は木製が多く、重さの関係もあり、大きいサイズでの製作は難しいが、今回同社のブランド「bolda」を紙で作ったところ結構な問い合わせがあつたという＝写真。

田中社長は、「今年始めて出展しましたが、来場者も多く手応えを感じています。今回の出展で様々な課題も見えてきたので是非次回も出展してよりアピールできるようにしていきたい」と笑顔で答えていた。

(山本)

所在地 杭瀬北新町3-2-28  
TEL 6487・0344  
HP <http://bolda.jp/>

## 心の救急箱

4

### 「うつ症状」に負けない対処法

現代はストレス社会といわれていますように、ストレス性の病や症状は増え続け、年々、若年化の傾向を見せています。とりわけ「うつ症状」が目立つようになりまし。いまや「うつ症状」の人は250万人といわれています。

この症状は、一歩間違うと3カ月から6カ月、根本的な解決ができないまま、ゆううつな思いを募らせていると3年、6年と、自分の心を閉ざして「ひきこもってしまう場合」があります。そのため長期休養ということになったり、退職ということになる、家族はもちろんのこと、企業・組織にとつても大きなダメージになるのではないのでしょうか。

変化の激しい競争社会の中で、成績、評価など、何かとプレッシャーを受ける厳しい時代です。誰かの言動や、自分の言動・行動の失敗などにとらわれて自尊心に傷がつくショックを受け、気分が沈んで落ち込んだ時は、頭の中だけで考えないようになりましょう。考えれば考えるほど物事を「悪いよう」「悪いほう」に受け止めて考えてしまい、問題解決の糸口をつかめないまま「ゆううつ」な思いだけが募っていきます。気分がスッキリしないときは次の方法で解決しましょう。

当たり前やさしいことの中に落とし穴がある

人間は難しいことでは失敗しないはず。聴いてみると誰でもわかる当たり前のやさしいことの中に落とし穴があります。でも、そのことに気づいていないことが案外多いようです。自分より人生経験豊富な人は、数多くの人を見聞きして、人のことについては何かにつけてよく知っているはずですから、自分の胸の内の迷いをさりげなく話しましょう。話すときは、相手のことにこだわったり、自分のことだけにこだわらないように、「どんなことがあつたのか」「自分としては、どのようになりたいのか」にポイントを絞って、今の心境を話すと、相談を受けた人は、親身になって智慧を絞り、胸の内の迷いが払拭されるヒントを気づかせてくれると思います。

1. 話す…

こんなことを尋ねると恥ずかしいと思つていても、あの人なら「どんな考え方をするだろうか」と人の意見や言い分にも、自分の胸の内の迷いが払拭されるようなヒントに気付いて、「なるほど」「そうすればいいんだ」と、前向きに行動する意欲が芽生えるのではないのでしょうか。

2. 聴く…

自分の判断は正しいと思つている人であっても、相手の意見や言い分を学ぶ心を持つて冷静に聴き取っていると、「自分の考えの足りないところ」を教えてください。ことに気付くと思ひます。

3. 書く…

困つたことは頭の中だけで考えないで「思い」や「いきさつ」を文章化して客観的に判断すると、「解決の糸口はつかみやすい」という問題解決の要領に気付くと、問題解決能力が高くなった自分に自信が付くのではないのでしょうか。

4. 考える…

対人関係や仕事など、物事がうまくいかない結果にとらわれて悩んだときは、原因から順序だてて対応の仕方や解決策を冷静に考える要領に。気付くと、自分に自信が付く喜びを感じるのではないのでしょうか。



人間関係研究所  
主宰 有吉 實

うつなどの社会病の予防を研究する人間関係研究所を主宰し、著書に「親と子の人間学」「ストレス社会の人間学」などがある。日本郵政グループ・JP労組近畿地方本部顧問カウンセラーを勤める。